

「馬印の氷砂糖」の販売につきまして、平素より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。
立春過ぎには4月を思わせる陽気でしたが、また寒の戻りがあった

りと三寒四温の言葉通り確実に春が訪れてきています。今年も梅便りが届く時期となりましたので、冰糖シーズンに向け適宜青梅情報をお送り致します。販売の参考にして頂ければと願っています。

和歌山の梅の状況

1月から2月上旬の平均気温が昨年より約2℃高かったため、開花は1月末から始まり、昨年より約10日早い2月上中旬には満開期を迎えました。現在、平野部の一部では落弁期に入っています。受粉梅の開花が多少遅れ気味でしたが、後半には追いついたようです。2月中旬には、4月中下旬並みの気温の日もあり、ミツバチによる受粉も順調でした。

着蕾数は前年比120%、平年比115%と多くなっています。昨秋の降雨量が順調であったこと、昨年の収量が比較的少なく木の栄養状態が良かったことが原因と思われる。着蕾数がそのまま作柄に直結

するものではありませんが、少なくとも現時点では良い傾向です。

今後、実を付ける3月末までには遅霜、ヒョウ等の悪天候が心配されます。その後、生理落下を経て5月連休明けには作柄がほぼ確定します。梅の出回り時期は開花時期にはあまり左右されず、例年通り5月下旬からになると思われます。

梅干は中国産輸入梅が敬遠され、下等級品がタイトになっていますが、依然として先が読みづらい状況です。青梅は迅速確実に換金できるため、農家の安定には不可欠であり、市場を確保するため、ここ数年安定した数量を出荷しています。



〔今年〕2009年2月13日撮影(平野部)



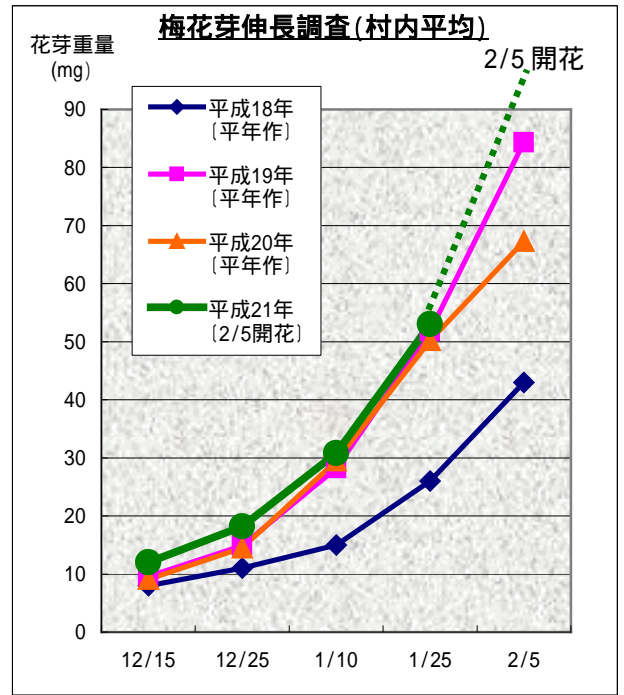
(山間部)



〔昨年〕2008年2月14日撮影(みなべ町)

青梅収穫情報判断の参考

年度	青梅収穫量 (t)	冰糖出荷高 (t)	気象情勢				満開時期		備考
			温暖		寒冷		和歌山県	群馬県	
			1月	2月	3月	4月	2月	3月	
14年	112,700	17,664					中旬	中旬	平年作型
15年	88,300	16,670					中旬	中旬	不作型
16年	113,700	16,013					下旬	下旬	平年作型
17年	123,000	15,837					中旬	下旬	豊作型
18年	119,800	16,784					下旬	下旬	平年作型
19年	120,600	17,017					中旬	中旬	平年作型
20年	121,000	16,999					中旬	下旬	平年作型
21年							中旬		



花芽重量80~90mgで開花

冰糖価格のお願い

既にご案内通り、資材・副資材・運賃・工場経費等の上昇により、5%の値上げをお願いしております。事情ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

また、量販店様売価につきましては、下記にてお願いしておりますので、ご参考にして下さい。

平成21年度一般量販店シーズン売価予想

	平成20年度	平成21年度
ロック	398円~448円	428円~468円
クリスタル	398円~438円	398円~448円

ホームページのご案内

<http://www.nakahyo.co.jp/>

今年も弊社ホームページにて南濃梅園の梅の生育状況を2週間毎にお知らせする予定です。ぜひ一度アクセスして頂き、冰糖販売のご参考にして頂ければ幸いです。

何卒従来に増して「馬印の氷砂糖」のご愛顧をお願い申し上げます。